

# 話し合い活動の手引き

## § 7 環境整備

学級会を行うためには、その環境整備にも大きな役割があります。

### 《学級会コーナー》

まずは「学級会コーナー」から。

場所は、教室の後ろの小黒板か掲示板を使います。

一般的には議題箱に入っていた議題案を「みんなで話し合うもの」「委員会や学校に頼むもの」「先生にお願いするもの」という3つに分けて貼るコーナーとして使っていました。

これらの議題案には、どのように処理されたかがわかるようなコメントを付けられるようにしておくことが大事です。



### 《議題箱・議題ポスト》

教室の後ろに常設しておきたいものです。

「議題箱」でもいいのですが、ちょっと堅苦しいと思われる場合には、名称を工夫するといいですね。

「気づきポスト」「ほっとコーナー」「学級盛り上げポスト」という名前をつけたことがあります。

この議題箱を開けるのは計画委員の子どもたちに任せます。

その理由は、この箱の中には、基本的に「子どもたちが学級をよりよくするために話したいこと」を入れるようにしたものだからです。しかし、個別に先生に相談にのってもらいたいことも書かせたい場合には、議題箱と別の箱を準備した方がいいでしょう。そちらの箱は、先生が開けるようにしておくようにします。

### 《議題カード》

議題箱の横に置いておきます。

話したい、みんなで考えたいことを自由に書いてポストに入れられるようにしたいものです。

この議題カード、3色に色分けしたものを置いておいたこともあります。

「困ったカード」「やってみようカード」「工夫カード」という3種類です。「困ったカード」には、今困っていてみんなで話し合っって解決したいことを、「やってみようカード」には、みんなでやってみたい集会やイベントなどを、「工夫カード」には学級生活をよりよくするためのアイデアなどを書かせるようにしていました。

このようなカードは、低学年には好評でした。

### 《「司会の進め方」などのプリント》

司会、副司会、書記がそれぞれに役割を分担しながら、話し合いを効果的かつ能率的に進めるためのカードです。

話し合いに慣れるまでは準備しておくこと、初めてそのような役を任せられた子も安心して取り組むことができるのではないのでしょうか。

## 《「話し合いの発言の仕方」を掲示》

いわゆる「話し形」と呼ばれているものですね。  
例えば次のようなものです。

☆新しい意見	私は～と思います。それは～だからです。
☆賛成の意見	私は～に賛成です。それは～だからです。
☆付け加えの意見	私は～に付け加えます。
☆質問	〇〇さんに質問しますが、～とはどういうことですか。
☆修正意見	私は～したらもっといいと思います。それは～だからです。
☆励ましの意見	〇〇さんの意見はとてもいいと思います。
☆助ける意見	〇〇さんの言いたいことは～ということだと思います。
☆統合の意見	〇〇さんと□□君の意見を一緒にして、～とすればいいと思います。

ただし、これは始めから完成したものを貼っておくのではなく、子どもたちが話し合いの中で実際に使った言葉を「話し合いの宝物」という呼び方で、学級の財産にしていく方がよいと思います。

なぜならば、教師側から提示した話し形であると、子どもがそのよさを十分に理解していないまま使用することとなり、かえって発言の際の足かせとなってしまう場合があるからです。あくまでも子どもの側から出てきた言葉であり、その話し方を子どもたち自身が価値のあるものと納得していることが大切だと考えます。

## 《発言者のチェックリスト》

私は、副司会用に学級の児童名簿を渡しておきました。これは、発言した子に印を付けるものです。できるだけいろんな子に発言をしてもらおうと思って準備しました。副司会者は、その名簿を見ながら、たくさんの子を指名していきます。

## 《板書代わりのカード》

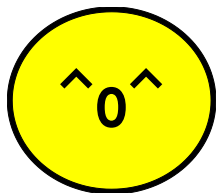
板書代わりにカードを準備しておきます。  
「第 一回学級会」「議題」「提案理由」「話し合い」などです。  
これらを学級会のたびに黒板に貼っていくのです。

## 《いろいろなマーク》

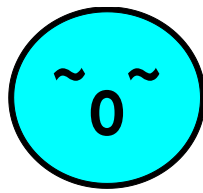
話し合いの中ではいろいろなマークを使い分けることが効果的です。

### \* 賛成・反対マーク

子どもたちからいろいろな意見が出されます。それらをランダムに板書していくと、賛成・反対の見分けが付きにくくなる場合があります。その時、賛成意見、反対意見を視覚的にさせるためにマークを用意しておきます。色違いの玉磁石を使うという方法もあります。一目で賛成か反対かが分かるので便利です。



賛成マーク



反対マーク

### \*今ここマーク

今どこを話し合っているのか，途中で分からなくなる場合があります。そこで，今ここマークを準備しておいて，今話し合っている柱のところに貼っておきます。

このマーク，ここでは「矢印」を例にしていますが，「バス」や「自動車」などを使っている学級もありました。



### \*時間マーク

全体の時間をコントロールするために，それぞれの柱は「何時何分頃」話し合いをするのか，その目安にするために貼っておくマークです。

実際には，針が動くように作っておくと汎用性が広がります。



### \*決定マーク

話し合いの結果，いろいろなことが決まります。そこで，「決定マーク」を準備しておきます。これは，学級のマークなど子どもたちに馴染みの深いものをモチーフにして作っておくといいでしょう。きっと楽しい雰囲気を作り出すのに大きく役立ちます。

